

## 総 会

### 2021年度定時総会を開催

2021年6月に[2021年定時総会]を開催しました。会員の繁忙や参集する時間と経費等にかかる負担の軽減を図ることに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、2021年度の定時総会は、文化財建造物保存修理研究会会則第22条の2の規定に基づき、書面及び電子的方法にて開催しました。

6月18日(金)付けて定時総会の開催通知と議案書を正会員各位に送信し、6月29日(火)までに議決権行使書の提出を求めました。

審議事項は以下のとおりです。

- ・第1号議案：任期満了に伴う役員  
の改選について
- ・第2号議案：2020年度事業報告  
について
- ・第3号議案：2020年度収支決算  
報告について
- ・第4号議案：2021年度収支予算  
案について
- ・第5号議案：2021年度事業計画  
について

2021年4月1日現在の正会員数299名中、66名から議決権行使書の提出がありました。書面による議決権のなかったものについては、会長に一任するものとし、過半数以上の賛成を得て、いずれの議案も承認されました。

2020年度収支決算及び2021年度収支予算は本誌巻末にてご確認ください。



## 実施事業

### 研究会誌『文化財建造物研究 / 保存と修理』の刊行

2021年3月末日に、研究会誌『文化財建造物研究 / 保存と修理』Vol.6 [2021] を刊行しました。

### 第6回 研究発表会 開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、第6回研究発表会はオンラインにて開催しました。

開催日時：2021年11月13日(土)

開催時間：10:00～16:00

参加人数：90名(講師・事務局9名を含む)

今回は2020年に「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、伝統建築工匠の技を継承される方々に、その現状と課題を報告していただきました。

[基調講演]

『「伝統建築工匠の技」を伝える』

清水 真一(徳島文理大学教授・当  
会会長)

[事例報告]

1. 「伝統建築工匠の技：茅採取・茅葺」  
安藤 邦廣 [筑波大学名誉教授・  
(一社) 日本茅葺き文化協会代表  
理事]
2. 「伝統建築工匠の技：鋳金具」  
森本 安之助 [(株) 森本鋳金具製  
作所代表取締役]
3. 「伝統建築工匠の技：彩色」  
荒木 かおり [(有) 川面美術研究  
所代表取締役所長]
4. 「伝統建築工匠の技：装潢」  
岡 岩太郎 [(株) 岡墨光堂代表

取締役]

5. 「伝統建築工匠の技：修理・木工」  
青木 弘治 [元(公財)文化財建  
造物保存技術協会・選定保存技術  
保持者-規矩術(近世規矩)]

[質疑応答]

司会・進行：平井俊行 [八幡市立松  
花堂庭園・美術館館長・当会副会長]

### 現場ワークショップ

「現場ワークショップ」は、実際の保存修理工事現場において修理工事の状況を見学し、具体的な事例を通じて文化財建造物の保存修理に関し意見交換を行うことにより、会員の調査研究の向上に資することを目的としています。

\* 2021年度は、新型コロナウイルスの拡散防止の観点から、開催を見合わせました。

### 文化財建造物保存修理 ワークショップ

「文化財建造物保存修理ワークショップ」は、文化財の修理技術や活用技術等に関する「文化財保存・復元展」((一社)能率協会主催)の開催期間中に、保存修理事業の実際の紹介を通じ、保存修理工事や活用計画等にかかる今日のかつ具体的な課題等について、来場者も交えた幅広い意見交換を行うものです。

歴史的建造物の修理にみる、いわゆる今日という伝統技術は、後世の修理の経験による蓄積や、その際の発見や知見によって成り立っており、現代の保存修理においても、それら伝統技術とともに当代の最新技術が応用されています。

---

\* 2021年度は、新型コロナウイルスの拡散防止の観点から、開催を見合わせました。

## そ の 他

### 研究会ニュースの配信

研究会ニュースNo. 26 を配信しました。